

第 1 2 2 回 (令和2年10月) 情報処理技能検定試験(表計算) 4 級問題

<問 題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表を完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 試験時間は20分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

顧客名	標準価格	設定料
赤坂 一郎	165,000	13,000
加藤 花子	148,000	10,000
田中 秀樹	186,000	16,000
星 ひとみ	129,000	6,000
大久保 愛	172,000	15,000
下山 勇気	156,000	12,000
瀬川 ミサ	190,000	18,000
橋本 和男	137,000	8,000

<処理条件>

- <出力形式>のようなパソコン販売一覧表を作成しなさい。
- 値引額=標準価格×0.08
請求金額=標準価格+設定料-値引額
ポイント=請求金額×0.05
- 合計・平均(整数未満四捨五入の表示)を求めなさい。
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)

<出力形式>

パソコン販売一覧表

顧客名	標準価格	設定料	値引額	請求金額	ポイント
合 計					
平 均					

第 1 2 2 回 (令和2年10月) 情報処理技能検定試験(表計算) 3 級問題

<問 題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表を完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

コード	支店名	売上目標	売上高	社員数
101	神田	3,800,000	3,760,000	7
102	水道橋	4,700,000	5,070,000	8
103	新宿	6,500,000	6,950,000	14
104	大久保	5,800,000	6,270,000	11
105	高円寺	8,300,000	7,740,000	13
106	国立	7,200,000	6,620,000	12
107	豊田	4,600,000	4,830,000	9
108	八王子	6,100,000	6,260,000	10
109	高尾	4,200,000	4,180,000	6

<評価表>

1人当売上高	評価
570,000 以上	A
それ以外	B

<処理条件>

- <出力形式>のような支店別売上一覧表を作成しなさい。(—— の部分は空白とする)
- 1人当売上高=売上高÷社員数(整数未満切り捨て)
達成指数=売上高÷売上目標×100(整数未満切り上げ)
次月目標=売上高×1.05
- 評価は<評価表>を参照し、求めなさい。
- 合計・平均(整数未満四捨五入の表示)・最小を求めなさい。
- 次月目標の降順に並べ替えなさい。
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)

<出力形式>

支 店 別 売 上 一 覧 表

コード	支店名	売上目標	売上高	社員数	1人当売上高	達成指数	次月目標	評価

(途 中 省 略)

——	合 計				——	——		——
——	平 均				——	——		——
——	最 小				——	——		——

第 1 2 2 回 (令和2年10月) 情報処理技能検定試験(表計算) 準 2 級問題

<問 題>

1. 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
2. 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
3. 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

商C O	商品名	原価
101	E 商品	3,950
102	F 商品	5,130
103	G 商品	4,880
104	H 商品	4,260

※<出力形式1>で使用する。

販C O	販売先名	商C O	販売数
11	赤井商店	102	130
12	久保田企画	101	124
13	山田総業	103	136
14	佐野ストア	104	121
15	大月物産	103	118
16	A S K 商会	102	109
17	大島商事	104	140
18	小野寺食品	101	158

※<出力形式2>で使用する。

<売価の計算式>

販売数	売価
130 以上	定価－400
それ以外	定価－350

<処理条件>

1. <出力形式1>のような定価計算表を作成しなさい。(—— の部分は空白とする)
2. 定価＝原価×1.28 (整数未満切り上げ)
3. 平均 (整数未満四捨五入の表示) を求めなさい。
4. <出力形式2>のような請求額一覧表を作成しなさい。(—— の部分は空白とする)
5. 定価は、定価計算表を表検索しなさい。
6. 売価は<売価の計算式>を参照し、求めなさい。
販売額＝売価×販売数
値引額＝販売額×6.7% (整数未満切り捨て) 請求額＝販売額－値引額
7. 販売数が140以下で請求額が660,000以上に“**”、それ以外に“*”の評価をしなさい。
8. 合計・平均 (整数未満四捨五入の表示) を求めなさい。
9. 売価の降順に並べ替えなさい。
10. 請求額一覧表の定価のセル証明をしなさい。
11. 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
12. 請求額一覧表の請求額の値を販売先名別の縦棒グラフにしなさい。
タイトルは“販売先別の請求額”とし、凡例は“請求額”とする。

<出力形式1>

定価計算表

商C O	商品名	原価	定価
(途 中 省 略)			
——	平 均		

<出力形式2>

請 求 額 一 覧 表

販C O	販売先名	商C O	定価	販売数	売価	販売額	値引額	請求額	評価
(途 中 省 略)									
——	合 計	——	——		——				——
——	平 均	——	——		——				——

C O	社員名	出張日数	出張手当	平均販売額	査定値	販売手当	支給額	判定
				(途 中 省 略)				
—	合 計			—	—			—

第 1 2 2 回 (令和2年10月) 情報処理技能検定試験(表計算) 1 級問題

<問 題>

- 1. 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 2. 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
- 3. データ保存またはすべての表の数式印刷をしなさい。
- 4. 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

社C O	製C O	作業数	完成数
101B	11	607	583
102C	11	981	912
103A	11	710	668
104C	11	450	428
101B	12	876	825
102C	12	510	485
103A	12	886	837
104C	12	480	441
101B	13	392	368
102C	13	895	830
103A	13	529	490
104C	13	682	630

<社員テーブル>

社C O	社員名
101B	大八木 桜
102C	松川 栄一
103A	杉山 絵美
104C	南 大五郎

<製品テーブル>

製C O	製品	賃金単価
11	L	124
12	M	145
13	N	137

<勤勉単価表>

作業数	勤勉単価
850 以上	16
600 以上 850 未満	14
1 以上 600 未満	12

<技能単価テーブル>

区分	技能単価
A	15
B	13
C	14

<評価表>

完成数	完成率	評価
830 以上	または 95.0%以上	＊＊
それ以外		＊

※区分は社C Oの右から
1文字目とする。

<処理条件>

- 1. <出力形式1>のような社員別支給額計算表を作成しなさい。(—— の部分は空白とする)
- 2. 社員名は<社員テーブル>を表検索しなさい。
- 3. 製品名は<製品テーブル>の製品を表検索し、“製品”の文字を関数または演算子を使用して結合しなさい。
(例 L製品)
- 4. 完成率=完成数÷作業数(％の小数第1位未満四捨五入の表示)
出来高賃金=賃金単価×完成数(100位未満四捨五入) ※賃金単価は<製品テーブル>を参照する。
勤勉手当=勤勉単価×作業数(10位未満切り捨て) ※勤勉単価は<勤勉単価表>を参照する。
技能手当=技能単価×完成数(10位未満切り上げ) ※技能単価は<技能単価テーブル>を参照する。
支給額=出来高賃金+勤勉手当+技能手当
- 5. 評価は<評価表>を参照し、求めなさい。
- 6. 合計を求めなさい。
- 7. <出力形式1>と同じ形式で、作業数が480以上で完成数が830未満を抽出しなさい。
表題は“社員別支給額計算表(作業数480以上・完成数830未満)”とし、社C Oの昇順で完成率の降順に並べ替えなさい。
- 8. 社員別支給額計算表を基に<出力形式2>のような処理をしなさい。
- 9. 社員別支給額計算表を基に<出力形式3>のような処理をしなさい。(平均は整数未満四捨五入の表示とする)
- 10. 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
- 11. <出力形式2>の支給額を社員名別の縦棒グラフにしなさい。
タイトルは“社員別の支給額”とし、凡例は“支給額”とする。

<出力形式1>

社 員 別 支 給 額 計 算 表

社C O	社員名	製C O	製品名	作業数	完成数	完成率	出来高賃金	勤勉手当	技能手当	支給額	評価
(途 中 省 略)											
——	合 計	——	——			——					——

<出力形式2>

社員別集計表

社員名	完成数	出来高賃金	支給額
大八木 桜			
松川 栄一			
杉山 絵美			
南 大五郎			

<出力形式3>

作業数が510以上710未満の支給額の合計	
完成数が630未満で技能手当が6,000円以上の件数	
製品名がM製品以外の出来高賃金の平均	

第 1 2 2 回 (令和 2 年 1 0 月) 情報処理技能検定試験(表計算) 初段問題

<問題>

1. 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
2. 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
3. データ保存またはすべての表の数式印刷をしなさい。
4. 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

商C O	仕入数
11	215
12	249
13	207
21	194
22	260
23	168
31	235
32	152
33	263

※<出力形式1>で
使用。

得C O	商C O	売上数
101B	12	132
101B	11	103
101B	31	97
101B	22	130
102A	13	78
102A	11	96
102A	23	165
102A	33	131
103C	21	106
103C	32	123
103C	13	124
103C	31	125
104A	22	113
104A	33	107
104A	12	99
104A	21	85

※<出力形式2>で使用。

<リンゴ品種表>

商C O	品種
10番台	つがる
20番台	王林
30番台	ふじ

<利益率表>

仕入数	仕入額	利益率
260以下	かつ 45万以上	29.8%
260以下	かつ 35万以上 45万未満	30.5%
それ以外		31.7%

<得意先テーブル>

得C O	得意先名	目標額
101B	新生活百貨	985,000
102A	果物ストア	972,000
103C	スマイルA	998,000
104A	しんせん館	917,000

<原価表>

商C Oの 下1桁	等級	商C O		
		10番台	20番台	30番台
1	秀	1,960	2,070	2,180
2	優	1,720	1,840	1,930
3	良	1,590	1,640	1,780

<値引率表>

売上数	値引率
1以上 110未満	7%
110以上 140未満	8%
140以上	9%

<割引額の計算式>

得C Oの右から1文字目	割引額
B	売上額×3.2%
それ以外	売上額×2.8%

※割引額は整数未満切り上げ。

<処理条件>

1. <出力形式1>のような仕入一覧表を作成しなさい。(――の部分空白とする)
2. 商品名は、品種・等級の順に関数または演算子を使用して結合しなさい。(例 つがる秀)
※品種は<リンゴ品種表>、等級は<原価表>を参照する。
3. 原価は<原価表>を参照し、求めなさい。 仕入額=原価×仕入数
4. 利益率は<利益率表>を参照し、求めなさい。(％の小数第1位までの表示とする)
定価=原価×(1+利益率)(10位未満四捨五入)
5. 合計を求めなさい。
6. <出力形式2>のような売上一覧表を作成しなさい。(――の部分空白とする)
7. 商品名は仕入一覧表を表検索しなさい。
8. 売価=定価×(1-値引率)(整数未満切り捨て) ※定価は仕入一覧表、値引率は<値引率表>を参照する。
売上額=売価×売上数 利益額=売上額-原価×売上数 ※原価は仕入一覧表を参照する。
9. 合計を求めなさい。
10. 売上一覧表を基に<出力形式3>のような得意先別請求額計算表を作成しなさい。(――の部分空白とする)
11. 得意先名は<得意先テーブル>を表検索し、売上数・売上額は、基の表を集計する。
12. 割引額は<割引額の計算式>を参照し、求めなさい。 請求額=売上額-割引額
13. 合計を求めなさい。
14. 還元金=100,000×請求額÷請求額の合計(100位未満四捨五入)
15. 目標比=請求額÷目標額×100(小数第1位未満切り捨て) ※目標額は<得意先テーブル>を参照する。
16. 請求額の降順に並べ替えなさい。
17. 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
18. <出力形式3>の得意先名別の売上数を折れ線、請求額を縦棒にした複合グラフにしなさい。
タイトルは“得意先別の比較”とし、凡例は“売上数”、“請求額”とする。

<出力形式1>

仕 入 一 覧 表						
商C O	商品名	仕入数	原価	仕入額	利益率	定価
(途 中 省 略)						
――	合 計		――		――	――

<出力形式2>

売 上 一 覧 表						
得C O	商C O	商品名	売上数	売価	売上額	利益額
(途 中 省 略)						
――	――	合 計		――		

<出力形式3>

得意先別請求額計算表							
得C O	得意先名	売上数	売上額	割引額	請求額	還元金	目標比
(途 中 省 略)							
――	合 計					――	――